

「山田町のニュースを見て思ったこと」

1月24日付岩手日報の「貸工場は公園区域内、山田町が初歩的ミス」の記事を見て、そのあまりのずさんさに失望した。同時に、その5,300万円の大金があったら町民のために何かやれたであろうと思うと、憤りさえ起こってきた。そしてあらためて、わが町政の実態を垣間見る思いがしたが、皆さんはいかがでしょう。

ただ、今回救われたことは議会がその良識を発揮してくれたことだ。もしもこれがすんなり通過していたら、大変な失敗が見逃されていたかもしれないのだ。恐ろしい話である。

私は、今度の事案から分かった点を、3点指摘したい。まず、その一つは行政（仕事）が責任を持って、継続的になされているのだろうかということ（職業倫理の希薄さ）。2点目は、施策や事業がしっかりしたビジョンや展望を持って進められているのだろうかということ（リーダーシップの欠如）。そして最後に、首長以下職員が本当に町を思い、町民を愛して仕事をしているのかということ（使命感や情熱）。

難問山積で呻吟する「山田丸」の舵を取るべき役場は今、猛省を求められていると思うがどうだろうか。

私たちに希望の灯をともししてほしいのだ。私たちもまた単なるタックスペイヤーであとは「お上まかせ」というのではいけない。絶えず町政を注視し、町をよくしようとする建設的なアクションを起こすことである。たとえ、それがどんなに小さなことであっても！そうしてこそ、一步一步山田が変わっていくと思うのだ。ガンバレ！やまだ！

東海林 和彦（北浜町・62歳）

東海林さんから寄せられましたご意見について、私の考えを説明してご理解をいただきたいと思ひます。

まず、遊休施設の活用を図り町内進出企業を支援することを目的に、企業に貸し付けていた施設が都市公園地内に含まれていたことは、ご指摘のとおり町のミスで発生したことであります。平成元年に公園区域を拡大した際、同施設が公園内に含まれていることが今回判明したものです。このことについては、あらためて町民の皆さんにお詫び申し上げ、事務の適正化についてさらに厳正を期すように致します。その上で、ご指摘の点について説明致します。

今回、補正予算に計上しようとした費用は、工場建設のための工事設計業務委託料300万円であり、建設予算はその設計に基づき確定されるもので必要最小限の施設費用を目的としていました。工場使用者からは町条例に定められた建設費用に見合う正当な使用料を徴収し、将来投資額は回収されるものであります。現在10人程度の従業員を5年で30人にまで拡大する会社の計画を支援しようとしたものであります。

町の施策や事業がしっかりとしたビジョンや展望を持って進められているのか、使命感や情熱があるのか、とのご指摘ですが、まさに私はそのことを常に意識しながら町政を担っているものと自負しております。

町の第8次総合発展計画を策定するに当たって実施した町民アンケートや各種懇談会で出された要望の中では、産業振興、企業誘致、雇用確保などが上位を占めており、特に若者の雇用確保のための企業誘致は喫緊の課題であります。近年、多くの自治体が企業誘致のために独自の優遇策を策定しておりますが、町としても新年度から一定の条件を満たす企業に対して一億円を上限とする補助金を県と折半して助成する制度を検討しており、町民の要望に応じて一人でも多くの雇用を拡大するために今後とも努力するつもりであります。

山田町長 沼崎喜一



まつりPRで県知事を表敬訪問

二月十九日、沼崎喜一町長、山田の魅力発信実行委員会の阿部幸栄会長、町内漁協の組合長など十八人が増田寛也県知事を表敬訪問しました。昨年十二月から発生したノロウイルスの風評被害により、殻付きカキの出荷額が例年のおよそ半分に落ち込むなど、漁業者が受けているダメージはかなりの深刻なものとなっています。今回の訪問は、被害の現状報告と山田産カキの安全性、おいしさ

風評一掃へカキの魅力発信

を知ってもらい、三月十八日に開催される「三陸山田カキまつり」への参加を広く呼び掛けるため、実現したものです。当日は一行が県庁を訪れ、沼崎町長が「カキが原因のノロウイルスの被害は起こっていないだけに、皆悔しい思いをしている。風評には即効薬が無いので、地道にカキの魅力発信していくしかない」と被害に苦しむ漁業者の現状を報告。阿部会長は「今年のカキまつりは開催

が危ぶまれたが、町内漁協の協力により開催する運びとなった。風評被害を払拭するためにも、まつりを盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。続いて、町内漁協女性部の皆さんが作ったカキごはん、カキのお吸い、カキ田楽を増田知事が試食し、山田産のカキの味を十分に堪能しました。増田知事は「産地のわれわれが食べて元気な姿を見せることで、事実が冷静に伝われば少しずつ風評は払拭できる。県もPRや消費拡大へのお手伝いをしたい」と答えました。

が危ぶまれたが、町内漁協の協力により開催する運びとなった。風評被害を払拭するためにも、まつりを盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。

三陸山田てんこ盛りフェスタ2006



3月18日(日)

時間：午前9時半～午後2時

会場：大沢漁協荷捌所

山田の魅力発信実行委員会では、今年で3回目となる「三陸山田カキまつり」を開催します。殻付きカキ生産量日本一を誇る山田の豊富な海の幸を堪能しませんか。皆さまのご来場をお待ちしています。

◆申込先・問い合わせ 山田の魅力発信実行委員会（山田町商工会内 ☎82-2515・ファクス82-0677）へどうぞ。

◆駐車場とシャトルバスのご案内

当日の駐車場は下図のとおり3カ所となっております。駐車場から会場までは無料のシャトルバスを随時運行していますので、どうぞご利用ください。



昨年のカキまつりの様子

販売

- ▶ 殻付きカキ、むきカキ、ホタテなど水産物の販売
- ▶ カキづくし料理の販売（カキごはん、カキうどん、カキ田楽など）
- ▶ 地場産品展示販売（水産加工品、農産物、農産加工品、土産品など）
- ▶ 他市町村特産品販売（岩手町特産品など）
- ▶ お酒販売（限定カキビール、焼酎、ワインなど）

体験

- ▶ カキ・ホタテすくい体験（参加料500円、特製二本カギで2分間採り放題、定員100人）
- ▶ 養殖いかだ見学船運航（参加料無料、定員100人）
- ※上記イベントへの参加をご希望の方は、3月13日までに山田の魅力発信実行委員会事務局へ電話またはファクスで申し込んでください（定員になり次第締め切ります）。
- ▶ ちびっこカキ釣り大会（参加料200円、小学生以下先着100人、特製釣りざおで1分間釣り放題）
- ▶ カキむき無料体験（無くなり次第終了）

試食

- ▶ ジャンボ鉄板で作る三陸カキの中華炒め試食会
- ▶ カキグラタン試食会（先着300人、無くなり次第終了）
- ▶ カキ汁試食会（無くなり次第終了）
- ▶ ワカメのポイル実演&試食会（採れたてワカメを大鍋でポイルし、お好みのドレッシングなどで試食）
- ▶ バーベキューコーナー（お買い上げの商品を自由に調理できます。コンロ使用は無料です）

イベント試食会を開催 報道関係者招きおいしさPR



二月二十三日、カキまつりのイベント試食会が、町中央コミュニティセンターで開催されました。同試食会には沼崎喜一町長をはじめ町関係者や山田の魅力発信実行委員など四十人のほか、報道関係者を招待。「生食用殻付きカキ」「三陸カキの中華炒め」「カキグラタン」の試食が行われ、山田産カキの安全性やおいしさをアピールしてカキまつりへの参加を呼び掛けました。来場した報道関係者の皆さんにも試食をしていただき、生ガキを食べて「おいしそうですね」ととても満足された様子でした。